

## 水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成27年6月9日
タイトル	じょうずに植えたよ！初めての田植え！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成27年6月2日（火）福山市松永町の学校法人杉原学園 松永幼稚園年長組97名が、福山市東村町にある  
水土里ネット福山の組合員のかいのあきのり廻野明倫さんのほ場約17aで、田植えの農業体験をしました。

子ども達は、3組に分かれ、一組ずつ田んぼへ入ります。初めて田んぼに入った子ども達は「きゃー」と歓声をあげながら、初めての感触に恐る恐る田んぼへ入っていきましたが、すぐに真剣な表情になり、お母さんたちも一緒に一列に並んで、地元農家の方に教わりながら田植え綱の目印に沿って一生懸命植えていきました。初めてと思えないほど上手に植えることができました。

子ども達は、一列で4株植えて、後ろに下がってまた植えるのを10列しました。一人の子どもさんが40株植えて約100人の子どもさんなので、約4,000株の苗を植えたことになります。



子ども達が植えやすいように一つずつポット植えてある苗を使っておられました。これは、廻野さんが松永幼稚園へ出向いて子ども達が粃蒔き体験をして、それを持って帰って育苗しておられたもので品種はヒノヒカリです。

小さな手でもしっかり持って植えることができます。

一組が田植えをしている間、ほかの二組の子ども達は近くで応援していました。自分たちの順番が来ると裸足になり「きゃー」と歓声をあげながら、田んぼに入っていました。入れ替わりに田植えが終わった子ども達は廻野さんが用意してくださったタンクの水で足や手の泥を洗い流してお友達の応援をしていました。

一番に田植えが終わって待っている子ども達は、周りの草やカエル、虫に興味津々で、草を採ったり、カエルや虫を捕まえていました。

子ども達の田植えが終わると、廻野さんが残ったほ場を田植え機で颯爽と植えてくださいました。カッコいい田植え機に子ども達の目も釘付けです。あっという間に植えてしまいました。



がんばった証拠！どろんこです！



きれいに洗って、ダベ落とし！



田んぼの小さな生き物に興味津々！



スピードにびっくり！注目です！

みんなで記念撮影です！上手に植えられたよ！



水土里ネット福山では、今回の田植え体験をきっかけに農業用水に関心をもってもらい、豪雨などの災害時や日頃の生活のなかで、ため池や水路に対する防災意識を高めてもらうため、福山市の協力を得て、福山市上下水道局の災害備蓄用飲料水「ばらのまち福山の水」を配布し、農業用水路等への転落防止など防災について、子ども達と保護者に呼びかけました。



子ども達は、東村町にある東村町民族資料館「かかしの里」で、昔の農機具や農家の様子を見学しました。学校給食食材納入グループ「若草会」が中心となり手作りした「ミニかかし」をお土産にもらいました。



民族資料館「かかしの里」では、これは何？と昔ながらの道具に見入っていました。  
手作りのミニかかしは、一つ一つ違っていて、とても細かな作りになっていました。  
子ども達は、友達と見せ合いこしていました。  
若草会のみなさん、100人分のミニかかしの製作、ご苦労様です。

この農業体験をきっかけに、東村町のかかし祭りや農業祭などで交流を深めていきたいと思います。  
秋には、稲刈りを体験します。子ども達は、収穫した米でおにぎりパーティーを開く予定となっていて、今から楽しみにしています。